

KONISHI REPORT

.....

第100期 株主通信

中間期

2024年4月1日～2024年9月30日

.....

 **コニシ株式会社**

証券コード：4956



代表取締役会長 横田 隆



代表取締役社長 松端 博文

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用や所得環境の改善に伴い個人消費が回復するとともに、インバウンド需要によって企業収益が堅調に推移し、緩やかな回復基調となりました。一方で、欧米を中心とした金融引き締めや中国経済の減速、資源価格の高騰、物価高の影響等により、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、新たに策定しました「中期経営計画 2027 (2025年3月期～2027年3月期)」に基づき、新製品の市場導入等による新規開拓の強化や成長分野への注力の推進、また過去最大規模となる設備投資を行っていくことにより、さらなる事業拡大と経営の効率化を図っております。

その結果、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、売上高 657億74百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益 48億86百万円(前年同期比1.1%減)、経常利益 51億66百万円(前年同期比0.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は 33億47百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

さて、当社の歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業

用薬品の販売へと事業を拡大し、現在は、合成接着剤「ボンド」等を製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、創業からの問屋業の流れを受け継ぎ、化学品等を販売・開発する商社としての「化成品事業」、関係工事会社を中心に展開し、橋梁やトンネル等の社会インフラおよび建築ストック市場の補修・改修・補強工事を行う「工事業」を主力の3事業として、「つなげる」ことを理念とし、さらなる事業発展を図っております。

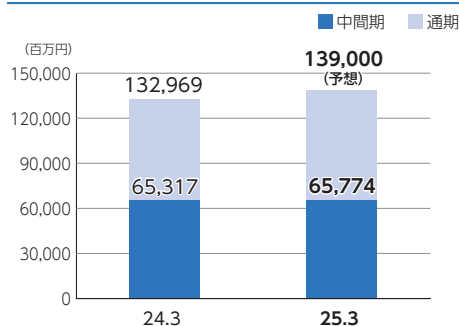
前期にスタートしました「中期経営計画 2026 (2024年3月期～2026年3月期)」は、営業利益目標や自己株式の取得について初年度で達成したことから、今期より「中期経営計画 2027 (2025年3月期～2027年3月期)」を策定し、推進しております。「ボンド」「化成品」「工事業」の各事業において、新規開拓の強化や成長分野への注力を推進し、過去最高となる売上高・営業利益を目指してまいります。また、生産・物流・DXへの設備投資を継続し、さらなる事業拡大に向けた成長投資を行ってまいります。

株主の皆様には今後とも変わらずご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト (2024年4月1日～2024年9月30日)

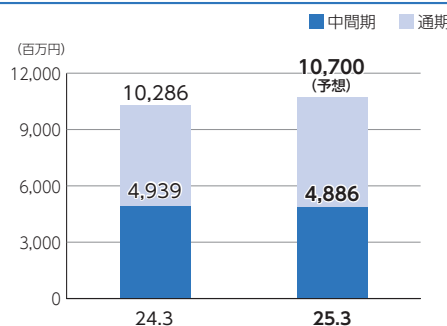
売上高

65,774 百万円 前年同期比 0.7%増 ↗



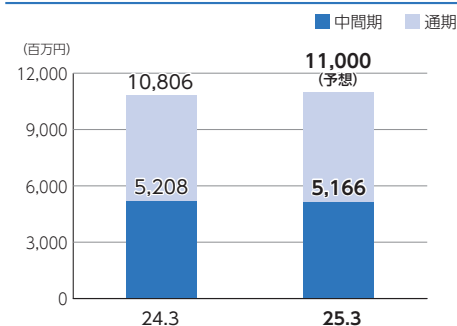
営業利益

4,886 百万円 前年同期比 1.1%減 ↘



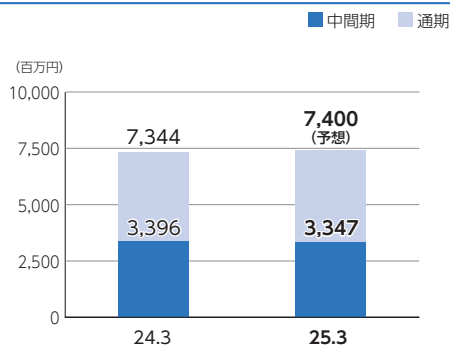
経常利益

5,166 百万円 前年同期比 0.8%減 ↘

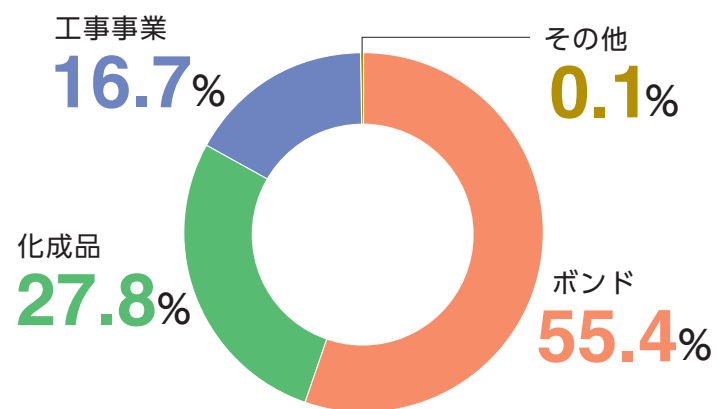


親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

3,347 百万円 前年同期比 1.5%減 ↘

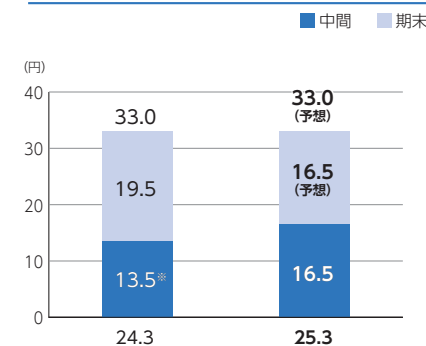


セグメント別売上高構成比



1株当たり中間(期末)配当金

16.5 円



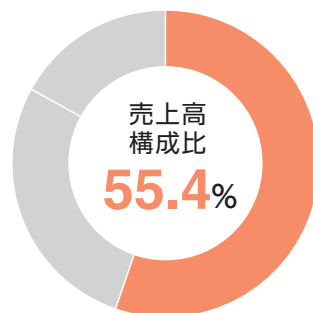
※2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期の1株当たり中間配当金については、当該株式分割調整後の金額を記載しております。

ボンド



事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っております。ボンドセグメントが関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを維持・補修・改修する際に使用される土木建設関連分野など多岐にわたります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、新製品の開発・改良を行っております。生産拠点は栃木工場・滋賀工場の2拠点で、栃木と滋賀には自社で物流センターを構えております。



売上高
36,412 百万円

前年同期比
+2.9%

営業利益
3,415 百万円

前年同期比
+5.5%

セグメント 構成

コニシ(株) ボンド営業本部 土木建設営業本部
サンライズ(株) ウォールボンド工業(株) 水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド物流(株) KB LINE(株)
科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム) PT. KONISHI LEMINDO INDONESIA(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)

当中間期の概況

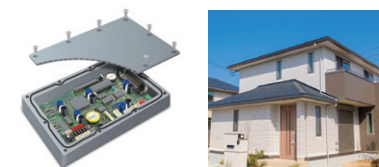
◆一般家庭用分野

ホームセンター向けやコンビニエンスストア向けは堅調に推移しました。



◆住宅関連・産業資材分野

住宅関連分野においては、新設住宅着工戸数の減少を受け、内装工事用接着剤の売上は減少しましたが、建築資材用水性接着剤は売上が増加しました。産業資材分野においては、自動車・電子部品用弾性接着剤や紙関連用途向けの水性接着剤等の拡販が進み、売上が増加しました。



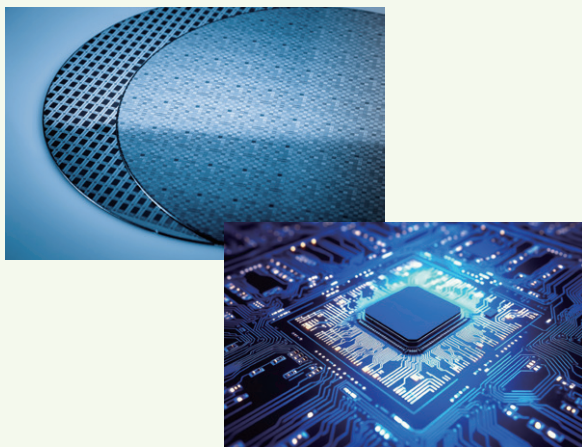
電子電機用接着剤

◆土木建設分野

建築分野および土木分野においては、改修工事案件の増加に伴い、建築用補修材や建築用シーリング材の売上が増加しました。

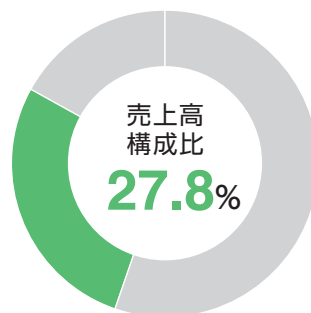


化成品



事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料などを仕入れて、ユーザーに販売する活動を行っております。化学品、塗料、電子電機、自動車などの分野を中心に、中国・台湾・タイ・インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしております。また、2017年に新設しました材料科学研究所と連携し、自社技術を生かしたコニシならではの提案型商社の構築を目指してまいります。



売上高
18,301 百万円

前年同期比

△ 6.8%

営業利益

707 百万円

前年同期比

+12.5%

セグメント
構成

コニシ(株) 化成品事業本部 丸安産業(株) 台湾丸安股份有限公司
科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)

当中間期の概況

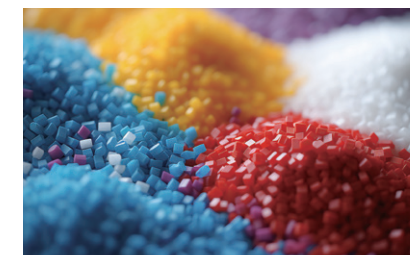
◆自動車分野、電子電機分野

自動車分野においては、生産台数の減少や仕入価格に連動する販売単価の下落等の要因により売上が減少しました。電子電機分野においては、中国市場の停滞により売上は減少しましたが、スマートフォン向け商材の新機種への横展開や利益の改善により利益が増加しました。



◆化学工業分野

化学工業分野においては、中国景気減速の影響を受け樹脂原料の販売が減少しました。

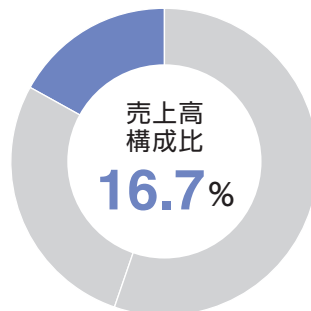


工事事業



事業内容

現在では過去に建てられた建築物ストックや社会資本ストックを、補修・改修してより長く利用できるように維持管理していく時代になっております。社会インフラ、建築物ストック市場の維持・補修・改修などを目的として関係会社を中心に工事請負事業を主たる事業として行っております。



売上高
10,969 百万円

前年同期比
+7.5%

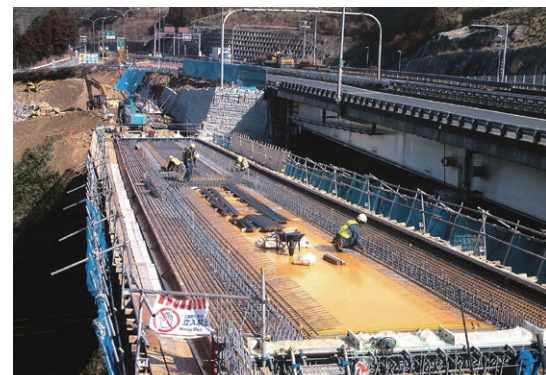
営業利益
704 百万円

前年同期比
△ 29.7%

当中間期の概況

◆土木建設工事分野

工事事業においては、当中間期において完工件数が少なかったため利益は減少しましたが、工事は順調に進捗しており売上は増加しました。なお、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事の受注活動も順調に進捗しています。



コンクリートはく落防止



トンネル改修



鋼板補強工事

セグメント 構成

ボンドエンジニアリング(株) 近畿鉄筋コンクリート(株)
コニシ工営(株) 角丸建設(株) 中信建設(株)

その他

不動産賃貸業となり、売上高は90百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は73百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

セグメント 構成

コニシ(株) 不動産部門

「中期経営計画 2027(2025年3月期～2027年3月期)」を推進

前期にスタートした「中期経営計画2026」につきまして、初年度である2024年3月期に営業利益目標を達成し、また、自己株式の取得につきましても、3カ年で計画していた取得額以上の株式を取得したため、改めて2025年3月期を初年度とする3カ年計画「中期経営計画 2027」を策定し、推進しています。

本計画では、「債券」「化成品」「工事業」のそれぞれが、新規開拓の強化や成長分野への注力をさらに推進し、過去最高となる売上高・営業利益を目指してまいります。

数値目標

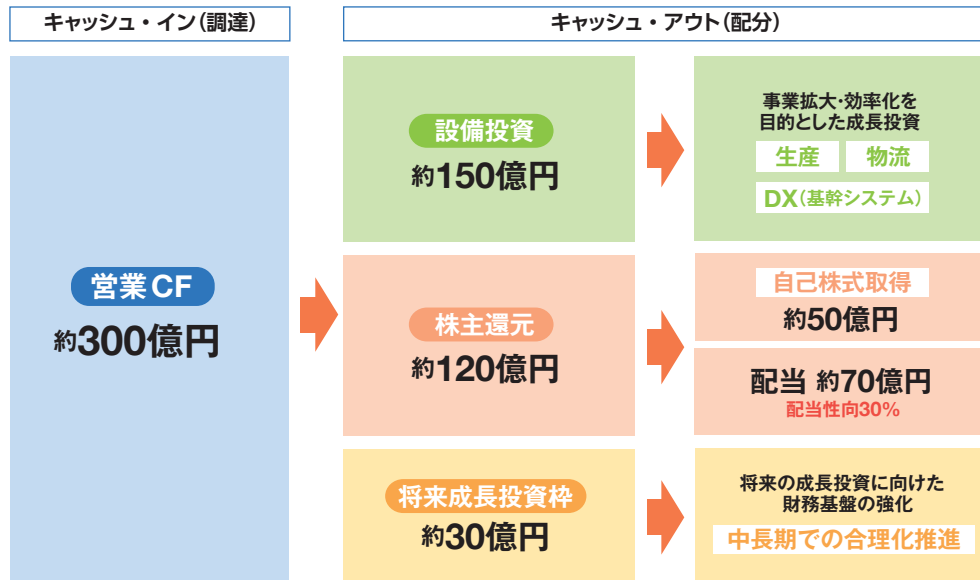
2024年3月期

売上高	1,329億円
営業利益	102億円
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small>	123億円 <small>(減価償却費+のれん償却費: 約20億円)</small>

2027年3月期(2024年3月期比)

売上高	1,500億円(+12.8%)
営業利益	115億円(+12.0%)
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small>	145億円(+17.0%) <small>(減価償却費+のれん償却費: 約30億円)</small>

資金配分計画(3年間)



※M&Aに必要な資金については手元資金から充当する予定です。
 ※2024年3月期に自己株式を約67億円取得いたしました。
 ※3年間の資金配分のイメージ図であり、運転資本の増減による影響は含めておりません。

各セグメント別事業戦略

債券

2027年3月期 数値目標	+92億円 売上808億円 <small>(2024年3月期: 716億円)</small>	+7億円 営業利益73億円 <small>(2024年3月期: 66億円)</small>
------------------	--	---

産業用途の新規開拓推進～非住宅分野の強化～
 電子電機、自動車業界向け製品の開発、水性形接着剤の拡販

社会インフラ・建築ストック長寿命化への取り組み推進
 土木建築補修用の新製品・工法開発の推進、建築用シーリング材シェア45%へ

既存主力業界である住宅関連用のさらなる拡販
 リフォーム需要の取り込み、新製品開発・他社切替えによりシェア向上を目指す

化成品

2027年3月期 数値目標	+33億円 売上426億円 <small>(2024年3月期: 393億円)</small>	+3億円 営業利益16億円 <small>(2024年3月期: 13億円)</small>
------------------	--	---

注力分野(自動車、電子電機業界)の新規・深耕開拓推進による販売強化

メーカー機能を併せ持つ商社へ
 材料科学研究所による自社開発製品の早期上市



工事業

2027年3月期 数値目標	+53億円 売上272億円 <small>(2024年3月期: 219億円)</small>	+2億円 営業利益24億円 <small>(2024年3月期: 22億円)</small>
------------------	--	---

リペア市場(土木補修分野)における事業拡大
 橋梁などの社会インフラ老朽化対策工事に注力

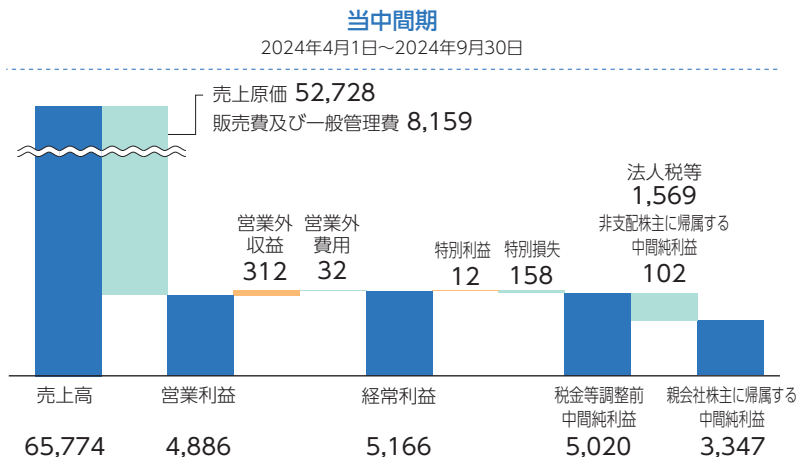
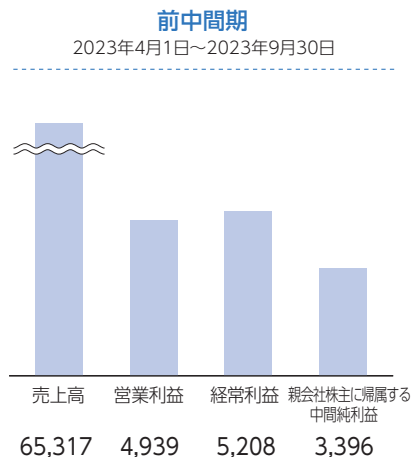
事業規模拡大に向けた体制の構築
 有資格者の採用強化、社内育成による資格取得推奨

M&Aによる事業拡大
 相乗効果が発揮できるM&Aの推進



※数値は収益認識基準適用後

● 連結損益計算書 (百万円)



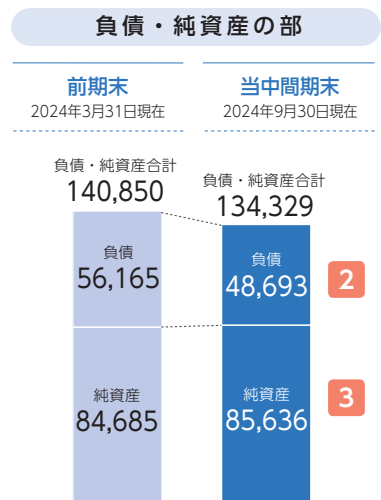
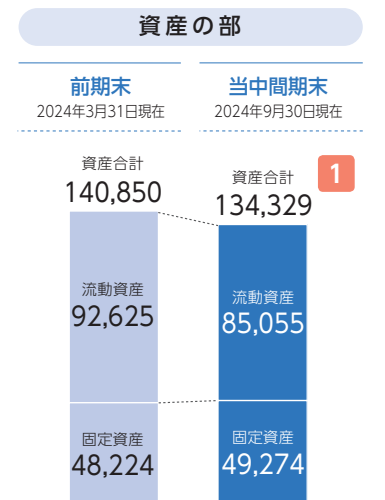
1 資産

流動資産は、現金及び預金が51億43百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が27億61百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ75億70百万円減の850億55百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が10億89百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ10億49百万円増の492億74百万円となりました。

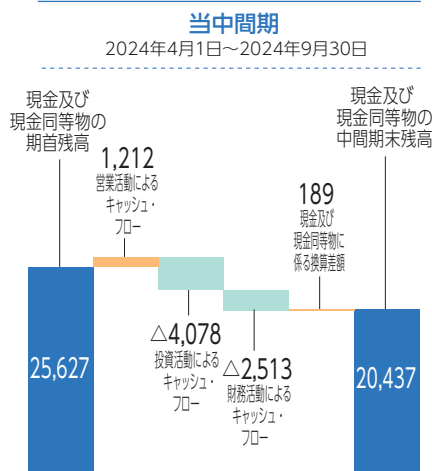
2 負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が48億48百万円、電子記録債務が16億97百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ75億9百万円減の416億35百万円となりました。固定負債は、退職給付に係る負債が54百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ36百万円増の70億57百万円となりました。

● 連結貸借対照表 (百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



3 純資産

純資産は、非支配株主持分が46億4百万円減少したものの、利益剰余金が20億76百万円、資本剰余金が16億19百万円増加したこと、マイナス項目である自己株式が19億97百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億51百万円増の856億36百万円となりました。

国内

国内拠点を示す地図。各拠点を写真とラベルで説明しています。

- 滋賀工場 (Shiga Factory)
- 大阪研究所 シーリング材研究所 (Osaka Research Institute for Sealing Materials)
- 滋賀物流センター (Shiga Logistics Center)
- 札幌支店 (Sapporo Branch)
- 栃木物流センター (Tochigi Logistics Center)
- 新潟営業所 (Niigata Office)
- 仙台営業所 (Sendai Office)
- 金沢営業所 (Kanazawa Office)
- 前橋営業所 (Maebashi Office)
- 栃木営業所 (Tochigi Office)
- 千葉営業所 (Chiba Office)
- 東京 サテライトオフィス (Tokyo Satellite Office)
- 横浜支店 (Yokohama Branch)
- 本社 (Head Office)
- 福岡支店 (Fukuoka Branch)
- 広島営業所 (Hiroshima Office)
- 高松営業所 (Takamatsu Office)
- 姫路営業所 (Himeji Office)
- 静岡営業所 (Shizuoka Office)
- 名古屋支店 (Nagoya Branch)
- 滋賀営業所 (Shiga Office)
- 浦和研究所 (Utsunomiya Research Institute)
- 材料科学研究所 (Materials Science Research Institute)
- 関東支社 (Kanto Branch)
- 沖縄営業所 (Okinawa Office)
- 栃木工場 (Tochigi Factory)

海外

海外拠点を示す地図。中国、台湾、タイ、ベトナム、インドネシアの拠点を示しています。

- 中国 (China)
- 台湾 (Taiwan)
 - 科陽精細化工(蘇州)有限公司 (Kony Precision Chemicals (Suzhou) Co., Ltd.)
 - 科昵西貿易(上海)有限公司 (Kony West Trading (Shanghai) Co., Ltd.)
 - 台湾丸安股份有限公司 (Taiwan Wan'an Co., Ltd.)
- タイ (Thailand)
 - Kony Sunrise Trading Co., Ltd.
- ベトナム (Vietnam)
 - Konishi Lemindo Vietnam Co., Ltd.
- インドネシア (Indonesia)
 - PT.KONISHI LEMINDO INDONESIA
 - PT.KONISHI INDONESIA

会社概要

(2024年9月30日現在)

設立 1925年(大正14年)9月25日

資本金 46億3百万円

従業員数 連結1,554名、単独735名

証券コード 4956

事業所 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
 本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号
 北浜コニシビル

関東支社 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目3番35号

プラント大阪 東京

支店 名古屋、福岡、横浜、札幌

営業所 仙台、新潟、栃木、前橋、千葉、静岡、金沢、滋賀、姫路、高松、広島、沖縄

製造拠点 栃木工場、滋賀工場

研究所 浦和研究所、材料科学研究所、大阪研究所、シーリング材研究所

物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

役員

(2024年10月1日現在)

代表取締役会長	横田 隆	社外取締役(監査等委員)	川田 憲治
代表取締役社長	松端 博文	社外取締役(監査等委員)	中田 基之
取締役副会長	大山 啓一	社外取締役(監査等委員)	山田 美樹
取締役専務執行役員	日下部 悟	常務執行役員	藤 善敏史
取締役専務執行役員	巖 利彦	常務執行役員	向井 義浩
取締役常務執行役員	岡本 伸一	常務執行役員	泉谷 憲一郎
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	佐野 直哉
社外取締役	肥後 陽介	執行役員	齋藤 文伸
取締役(監査等委員)	榎本 真也	執行役員	原田 邦治
		執行役員	平山 周一

WEB SITE

ホームページ紹介



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス

<https://www.bond.co.jp/ir/>



株式の状況

(2024年9月30日現在)

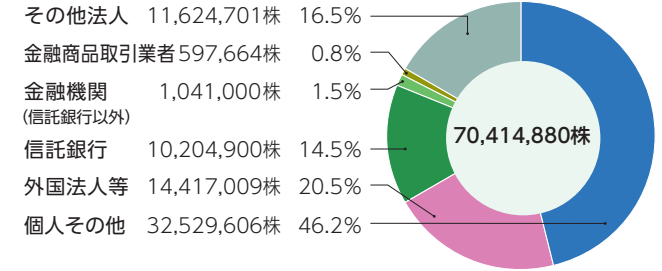
発行可能株式総数……………160,800,000株
 発行済株式の総数……………70,414,880株
 1単元の株式数……………100株
 株主数……………5,231名

○大株主 (上位10名)

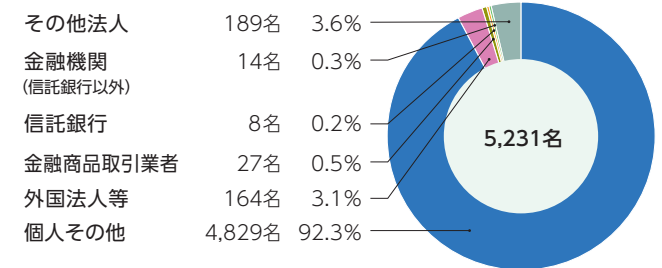
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	7,743	11.42
コニシ共栄会	4,714	6.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,926	2.84
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	1,767	2.60
明星工業株式会社	1,453	2.14
コニシ従業員持株会	1,434	2.11
AVI GLOBAL TRUST PLC	1,431	2.11
株式会社カネカ	1,368	2.01
小西哲夫	1,230	1.81
小西新太郎	1,138	1.67

(注)日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の所有株式数はすべて信託業務に係る株式であります。

○所有者別株式数の分布状況

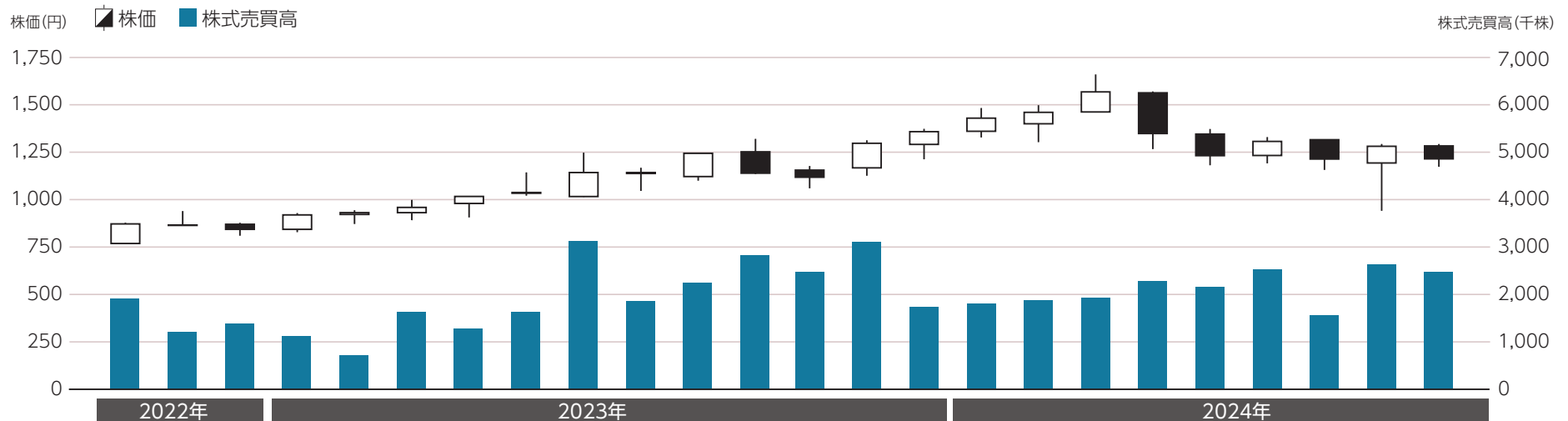


○所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移

(2024年9月30日現在)



※2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記株価および株式売買高は、当該株式分割調整後のデータを記載しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.bond.co.jp/ir/stock/notice/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本 社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
関東支社 / 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-3-35 TEL 048(637)9940



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®
の認証紙と水なし印刷方式を採用
しています。